

福祉サービス等第三者評価結果

総括コメント

受診施設名	岡田保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会

平成19年9月6日

評価が高かった点	A-1-(4)保育内容-①~⑪
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は謙虚な気持ちで一人ひとりの園児・保護者と向き合い、それぞれの状況や家庭環境に配慮しながら保育実践を展開しようと心がけています。 ・自然や社会との関わり(小動物の飼育、農園活動、地域の方々との交流等)と自由な表現活動(絵画教室、陶芸教室等)が体験できるよう配慮しています。 ・活動内容に応じて異年齢(混合)保育を実施し人間関係を育み、デイサービス等のお年寄りの方々や地域の方々と触れ合い、人を尊重(尊敬)する心を育てています。 ・共に育ち合うことを大切にしたり取り組みを行い、職員は研修に積極的に参加し、医療機関や専門機関と連携しています。
改善努力を要する点	III-2サービスの質の確保-(3)-② A-1-(3)保育環境-①
理由	下記の点に関して、課題が残ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報管理(保管、記録、廃棄、開示等)に関する規定の整備。 (様々な会議や研修を通して、情報管理について周知されています。) ・保育園での定期的な寝具の消毒乾燥。 (寝具は毎週保護者が持ち帰り消毒乾燥を行うことになっています。)
総括コメント	<p>岡田保育園は、舞鶴市の西端、東に由良川、北に日本海という風光明媚で自然環境豊かな地域に位置しています。一方、過疎化、少子化は深刻で、この対応が喫緊の課題となっています。</p> <p>岡田保育園では「それ故にこそ、なお一層の細やかな、心づかいの中で郷土を愛し、友達を大切に、みんなが平和で優しい心を育てていく保育を」という園長のスローガンの下、家庭、地域、保育園の絆を更に強く、大きく広げようと職員一丸となって努力・奮闘をつづけています。</p> <p>「園だより」の他、「食育だより」「クラスだより(各組毎)」の配布、保護者会活動、さらに地域と保育園をつなぐ様々な取り組みは、子どもの育ちと家庭支援、地域の活性化を目指した、まさに地域に開かれた地域の保育園ならではの保育実践といえます。</p> <p>保育園の特色となっている「ニコニコ笑顔がいっぱい、ワクワクどきどき楽しい保育の展開」はこれらを支える職員の情熱と豊かな自然環境、少人数ゆえの、ゆったりとした丁寧な保育環境から生み出されています。</p>

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	岡田保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成19年9月6日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

【自由記述欄】

・保育所保育指針の内容を踏まえて、理念、方針が文書化され、保育園の方向性や考え方が読み取ることができます。理念は保育園のしおりに記載され、園内に掲示されています。また、保護者にしおりを配布し保護者会で話す等の周知の取り組みが見られます。

・事業計画は単なる行動計画ではなく、保育園周辺の児童数の変化を把握する等具体的であり、会議や行事を通じての職員への周知の継続的な取り組みが行われています。

・管理者は職務分担表を整備し、行政や保育協会等の園外研修に積極的に参加し、法令遵守、サービスの質的向上に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	C	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

・具体的な資料の整備に課題が残りますが、研修に積極的に参加し、社会福祉事業の動向や自園を取り巻く状況について把握しています。

・保育実習生の受け入れ方法や保育実習の意義、方針を明文化しています。マニュアルも整備されています。

・安全管理のためのマニュアルが作成され、事故防止のチェックリストがありますが、役割と責任体制の明確化を行うとよいでしょう。

・ボランティア受入の姿勢は、積極的で体制も確立されています。

・小学校、医療機関とも連携されており、地域の福祉ネットワーク化にも努力されています。

・子育て支援と地域の活性化につながる取組みを心がけ、民家を借りて子どもの絵の展覧会や陶芸活動を行い積極的に地域との交流を役割を担おうとしています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

・マニュアル等も整備され、利用者に対してのサービス提供について、細やかなプリント配布などを行っています。
 ・利用者に関する記録はありますが、文章表現や記入方法に関するマニュアル等を整備・活用することで統一感のある記録となることでしょう。
 ・保育サービスの継続性については配慮されています。サービス継続性に配慮した手順と引継ぎの文書、サービス終了後の対応についての文書整備を行うとよいでしょう。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	岡田保育園
施設種別	保育園
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成19年9月6日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

・子どもの健康管理についての説明会を行っています。また、健康管理マニュアルを整備し、既往症や予防接種等の状況についてはついでには懇談を通じて情報交換を行っています。

・健康診断の結果は個別に知らせ、体重増加傾向にある場合は給食メニューを工夫するなど保育に反映されています。

・食事のセッティング、準備、配膳を子どもと保育士が一緒に行い、野菜作りから収穫までの農園活動、調理過程体験を通じて、子どもたちが食事を楽しむことができるよう工夫をしています。

・試食会を実施し利用者の声を聞き、管理栄養士が携わって「給食だより」を発行する等、家庭との連携しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(4) 保育内容	⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】
<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋には温度計と湿度計があり、手洗い場やトイレも定期的に清掃され、清潔に保たれています。玩具を定期的に消毒しています。 ・窓際には紫外線防止ネットがありますが、光を多く取入れるよう工夫され、園舎内は明るく保たれています。 ・室内に花を飾り、昆虫を飼育しています。子どもへの声かけや気分転換を行い、子どもが不安にならないような配慮が見られます。 ・家庭環境を見極めながら、子どもの気持ちや言葉を受け止める配慮が見られます。 ・消防自動車を見たり、図書館やデイサービスや老人ホームのお年よりの方々と係わるなど社会を身近に感じる、人々を尊重する取組みがあります。 ・指導者を招き、絵画教室や陶芸教室を開き、子どもたちの作品を発表する展覧会も実施され、子どもの表現活動を高める取組みがあります。 ・玄関には日頃の保育の様子を写した写真が掲示され、日々の取組みが容易に分かるようになっています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
A-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	

【自由記述欄】
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの保護者との情報交換等、個人ノートを利用し、適切に対応しています。 ・関係機関等との連携内容等も文書化され、体制が整っています。